

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。
謹白



項目名

【血中薬物濃度測定：免疫抑制剤】

● ミコフェノール酸(販売名:セルセプト) (依頼コード No.11091)

受託開始日 2021年4月1日(木) ご依頼分より

ミコフェノール酸は1896年にPenicillium属の発酵生成物の一つとして発見され、抗ウイルス作用、抗腫瘍作用、免疫抑制作用を持つことが明らかにされてきました。

合成物であるミコフェノール酸モフェチル(MMF)は、生体内で速やかにミコフェノール酸(MPA)に加水分解されます。ミコフェノール酸は、リンパ球細胞の増殖を選択的に抑制し、臓器移植後に発症する拒絶反応の形成不全を誘導します。

本検査では、ミコフェノール酸モフェチル製剤(販売名:セルセプト)の代謝物であるミコフェノール酸のLC-MS/MS測定による血中濃度をご報告いたします。代謝には個人差があるほか、シクロスポリンとの併用で血中濃度低下が報告されており、腎不全では上昇します。臓器移植後の免疫抑制治療をより最適化するため、ミコフェノール酸の血中濃度モニタリングは重要です。

裏面に続きます

受託要領

依頼コードNo.	11091
検査項目名	ミコフェノール酸
統一コード	3M816-0000-022-210
検体必要量	血漿(EDTA-2Na) 0.3mL
容器	B-7→S-1
検体の保存方法	凍結
所要日数	3~6
検査方法	LS-MS/MS法
基準値	なし
単位	μg/mL
報告範囲	0.5未満～最終値
報告桁数	小数第1位
保険点数	470点(特定薬剤治療管理料1): 下表参照
備考	販売名: セルセプト ミコフェノール酸モフェチルの活性代謝物であるミコフェノール酸を測定し、ご報告いたします。

【検査方法の参考文献】

Gunner B. et al.: Clinical Chemistry 52, 1962-1964, 2006.

特定薬剤治療管理料1

対象薬剤	算定対象 (入院・外来)	所定 点数	初月 加算	4か月目 以降	注記
【免疫抑制剤】 ミコフェノール酸 モフェチル (臓器移植後)	入院・外来	470点	臓器移植後 3か月まで <u>2740点</u>	470点	ミコフェノール酸モフェチルを投与している臓器移植後の患者であって、2種類以上の免疫抑制剤を投与されているものについて、医師が必要と認め、同一暦月に血中の複数の免疫抑制剤の濃度を測定し、その測定結果に基づき、個々の投与量を精密に管理した場合は、6月に1回に限り250点を所定点数に加算する。